

社会人対象短期在学コース
起業家育成一般在学コース

名古屋工業大学 大学院工学研究科 産業戦略工学専攻 (テクノビジネススクール)

◎産業技術経営分野

- ・リーガルテクノロジー 知的所有権 国際技術創成
- ・経営管理 経営管理 技術経営戦略
- ・産業イノベーション 品質管理 マーケティング
- ・産業技術開発論 技術展開 産学連携技術
- ・協力・連携特別講義 企業戦略 意思決定

◎コアテクノロジー分野

- ・物質工学系 材料開発コアテクノロジー
- ・機能工学系 生産技術コアテクノロジー
- ・情報工学系 電子情報コアテクノロジー
- ・社会工学系 都市環境コアテクノロジー

名古屋工業大学

大学院工学研究科(博士前期課程)産業戦略工学専攻

学生募集案内

一般在学コース 修業年限が2年で、一般学部卒業者が対象 【募集人員 17名】

出願資格: 大学を卒業した者あるいは卒業見込みの者

短期在学コース 修業年限が1年以上2年未満で、昼夜受講が可能な社会人 【募集人員 16名】

出願資格: 大学を卒業後(個別の入学資格審査で大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者を含む)一定の社会的経験を有する社会人

年間スケジュール(通常講義は前期4月~7月、後期10月~2月の主に夜間)

8月	2月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
一般 在学コース ・短期 在学コース 入試	短期 在学コース 2次募集 入試	入学 オリエンテーション	一般 卒研発表	短期 申込みテーマ発表	一般 短期 一泊二日合宿	事例研究 中間発表	集中講義	事例研究 成果発表	外部講師講演会	短期 申込みテーマ 成果発表	一般 短期 修士論文発表・提出	一般 一年生 中間報告	
事例研究													

Q & A よくあるご質問とその回答

Q. 出願はどのようにすればよいのでしょうか?

A. 名古屋工業大学のウェブサイトに掲載される募集要項に従って出願ください。出願時期は、8月入試の場合は7月中に締め切り、2月入試の場合は1月中旬に締め切りがあります。

Q. 社会人ですが、業務の関係で昼間の授業には参加できないのですが、授業は昼間のみでしょうか?

A. いいえ、柔軟に対応しています。例年社会人の方からの希望をある程度調査した上で、夜間に開講する授業も設けますので、夜間の授業を中心とした履修でも必要単位数を確保することが可能です。

Q. 学部では文系だったのですが、入試を受けることは可能でしょうか?

A. 当専攻では幅広い分野からの人材を募集しており、特に社会人においては文系の方にもチャンスが与えられています。但し、大学院の授業においては工学に関する基礎をある程度理解していることを前提にしますが、過去の卒業生においても文系学部卒の方は数名いらっしゃいます。

課程修了の認定及び学位の授与

開講される授業科目から30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文又はリサーチ・ペーパーの審査及び最終試験に合格した者に、修士(工学、学術、産業戦略)の学位を授与します。

学生募集に関する照会先

〒466-8555 名古屋工業大学 学生部入試課

TEL.052-735-5083 FAX.052-735-5084 Eメール nit.nyushi@ml.nitech.ac.jp URL http://www.nitech.ac.jp



Nagoya Institute of Technology
Graduate School of Engineering
Master Course of Techno-Business Administration



※この印刷物は、再生紙(古紙配合率100%・白色度70%)を使用しています。



AGGRESSIVE CREW & RESEARCH SUBJECTS

ともに挑戦する教官と教育研究テーマ



産業技術経営分野

- 梅崎 太造 教授 ・指紋や顔などの個人認証アルゴリズムの開発・多目的な自律型福祉ロボットの開発・セキュリティ技術の特許化とビジネス化
- 粥川 裕平 教授 ・産業戦略と集団心理学・生産性と独創性—人材開発の視点—人間性を豊かにする産業戦略・先端産業におけるメンタルヘルスマネジメント
- 高木 繁 教授 ・ポルフィリンをコアとする光応答性デバイスの開発・C60 誘導体を用いた有機半導体デバイスの開発・PFC を導入した新規ポルフィリン錯体触媒の開発
- 仁科 健 教授 ・技術イノベーションにおけるデータ解析の応用に関する研究・感性品質の評価構造に関する研究
- 堀越 哲美 教授 ・産業技術史および技術の産業応用への展開・都市環境デザインとその政策化・環境心理に基づいた環境評価手法の開発
- 松井 憲一 教授 ・新規事業における顧客ニーズの確認度合いと成功確度・技術シード型の研究開発ベンチャーが成功する条件・モノ作り企業における新規事業成功の必要条件
- 小竹 暢隆 准教授 ・産業集積とイノベーションに関する研究・技術移転組織に関する研究・地域システムと経済コミュニティに関する研究
- 加藤雄一郎 准教授 ・ブランド、マネジメント基点のマーケティング戦略立案フレームワークの開発・顧客ニーズの探索と検証に関わるマーケティングリサーチ手法の開発・顧客価値創造に向けた企業のビジネスプロセス最適化マーケティング戦略
- 竹野 忠弘 准教授 ・中京圏の製造業企業研究・日系製造業企業の国際工程間分業戦略の研究・欧州における技術開発政策の研究
- 松浦千佳子 准教授 ・工学者のための英語教育・異文化コミュニケーション・多言語使用



コアテクノロジー分野

- 江龍 修 教授 ・エネルギービームを用いたエレクトロニクス新材料創製・ハード電子材料のナノ平坦化およびナノ構造創製
- 中西 英二 教授 ・β-ペプチドを用いた個鎖型導電性材料の開発・機能性ナノ粒子の開発・天然資源のリサイクルシステムの開発
- 中村 隆 教授 ・環境を重視した油膜付き水滴加工液の研究・放電加工現象の解明と微細付着放電加工の研究・マグネシウム合金精密加工の安全確保、環境対応技術開発
- 水谷 章夫 教授 ・廃棄物を原料とした建築材料の開発・既存住宅の床下診断検査方法の開発・都市環境と疾病との関連
- 伊藤 孝行 准教授 ・マルチエージェントシステムに関する研究・オークションと計算論的メカニズムデザインに関する研究・グループ意思決定支援システムに関する研究
- 是澤 紀子 准教授 ・文化的な景観と土地に根ざした環境の指標化・歴史的建造物の保全活用とまちなみデザインへの応用・材料と構法の再利用を基調とした環境デザイン
- 秀島 栄三 准教授 ・計画策定、利害調整のための制度、技術・経済性と環境負荷低減を考慮した都市施設管理・都市構造や利用者ニーズの変化に対応した都市基盤整備方策
- 山下 啓司 准教授 ・分子認識能を有するハイドロゲルの分子設計・ポリペプチドを用いた機能性材料の分子設計・生体機能を模倣した分子集合体触媒の分子設計
- 横田 和彦 准教授 ・エアータンボラムジェット、ロケットエンジン内流動特性の解明・マイクロポンプ流動特性の解明およびその開発・柔軟シート上の乱流境界層挙動の解明



授業科目

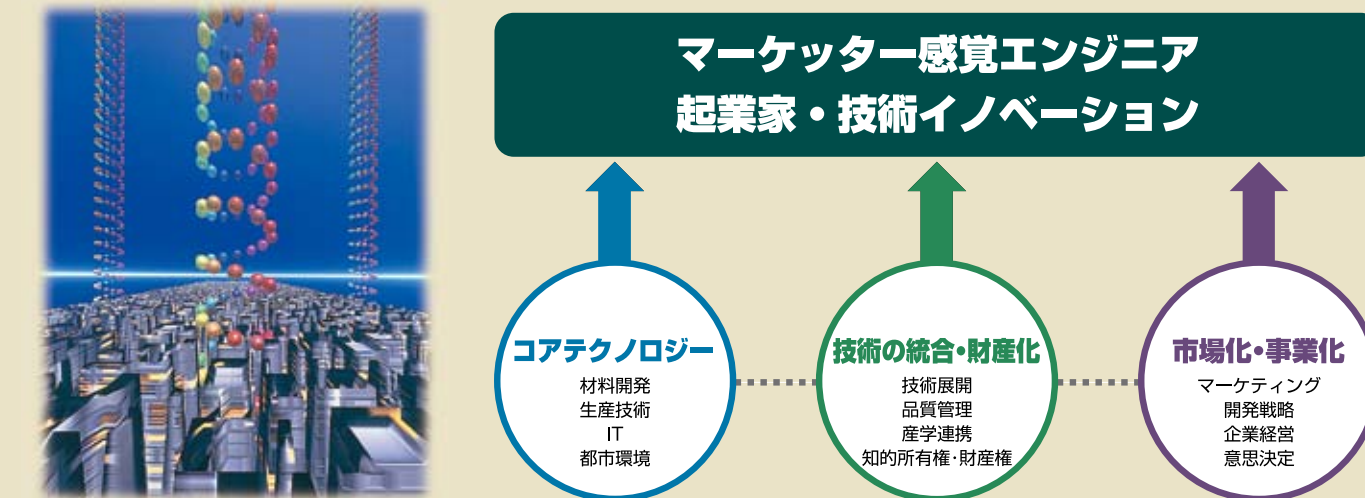
- 産業技術経営：知的財産権技術開発特論、知的所有権特論、経営管理特論、技術経営戦略特論、品質管理特論、マーケティング特論、技術展開特論、産学連携技術特論、精神保健管理特論、技術創成特論
- 慶應義塾大学：技術戦略特論、市場経済特論、意思決定特論
- ビジネススクール
連携科目
トヨタ自動車(株)：企業戦略特論、開発戦略特論、経営法務特論
- 他企業連携科目
コアテクノロジー：材料開発特論、材料開発コアテクノロジー特論演習、生産技術開発特論、生産技術コアテクノロジー特論演習、電子情報開発特論、電子情報コアテクノロジー特論演習、都市環境創成特論、都市環境コアテクノロジー特論演習
- 共通科目：産業戦略工学コロキウムⅠ・Ⅱ、産業戦略工学事例研究Ⅰ・Ⅱ、産業戦略工学プレゼンテーション、産業戦略創造企業演習Ⅰ・Ⅱ

PROSPECTUS

名古屋工業大学は、一世紀に及ぶ工学教育の実績を基にし、新たに経験豊かな経営コンサルタント、技術コーディネータ、起業家のスタッフを迎え、工学系経営教育を専門的に行う大学院として産業戦略工学専攻を設立しました。産学連携を進める精鋭の若手教官とともに挑戦的な教育研究を行っています。トップマネジメント・技術イノベーションを目指す社会人には一年間で修士号取得が可能なプログラム(社会人対象短期在学コース)を設定し、起業・技術者経営・コーディネート・知的財産獲得保持を目指す学卒者対象のプログラム(起業家育成一般在学コース)もあわせ、ものづくり産業の発展に貢献するリーダーを育成します。



社会人の通学・研究にも便利な都心のキャンパス



履修例 A

勤務先(家電メーカー)

家電メーカーの商品開発部門に勤務する A さんが入学し、昼間とともに夜間の履修時間も活用しながら、一年間で修士号を取得する社会人対象短期在学コースを選択。顧客ウォンツを捉えた商品開発が望まれることから、マーケティング感覚をもったエンジニアとしてブレイクスルーすることを目標に入学。

- 共通科目・必修単位 10、選択単位 8
- ・リサーチペーパーの研究テーマ「カスタマーデライトをめざした家電商品の開発」
 - 産業戦略工学コロキウムⅠ(4単位)、産業戦略工学事例研究Ⅰ(4単位)、産業戦略工学事例研究Ⅱ(4単位)
 - と共に事例研究→リサーチペーパー作成

履修例 B

新卒学生(材料工学科卒業)

材料工学科を卒業した新卒学生 B さんが入学し、二年間で修士号を取得する起業家育成一般在学コースを選択。材料工学分野の専門知識を深化させると共に、新素材の開発プロジェクトに興味をもち入学。

- 共通科目・必修単位 14、選択単位 4
- ・修士論文の研究テーマ「燃料電池システムの開発プロジェクトに関する研究」
 - 産業戦略工学コロキウムⅠ(4単位)、産業戦略工学事例研究Ⅰ(4単位)、産業戦略工学事例研究Ⅱ(4単位)
 - と共に修士論文の研究→修士論文作成



エンジニアマインドのリーダーを目指せ

- 社会人対象短期在学コース
- 起業家育成一般在学コース



名古屋工業大学は「ひとつづくり」、「ものづくり」、「未来づくり」を目標に掲げ、長い伝統の上に新たな風を吹き込む努力をしています。工学の知見に加えて、経営、財務、マーケティングに目の通る人材の育成が、ここに紹介している産業戦略工学専攻の使命です。研究・教育両面にわたる産学連携に取り組む本専攻に、意欲ある方々の応募を待っています。

学長 松井 信行



平成 16 年 3 月修了 岩田 英樹 (大同メタル工業株)

私は開発業務に携わったから、産業戦略工学に入学致しました。産業戦略工学で経営やマーケティングに関する授業を通し、これまで開発者だけの視点であった考えから、経営者やセールスの立場を踏まえた考え方も意識し、業務に取り組むことができるようになったと実感しております。



平成 17 年 3 月修了 片山 理奈 (スターツ株)

産業戦略工学専攻では、ビジネスプロセスの一連の流れを学ぶとともに、自分の「軸」となる技術の展開方法について学習しました。仕事では専攻で身に付けた「仕事(技術)を常に自問自答すること」により、相手に負けない議論をすること、理解を得るスピードの短縮など様々な場面で学んだ技術を発揮しています。



平成 18 年 3 月修了 長坂 修 (株)トヨタテクノサービス)

演習を重視したカリキュラムによって、これまでの独学による単発的な知識から、より実践的な知恵へと転換ができました。仕事との両立の不安もありましたが、会社の理解に加えて、社会人学生に対する先生方の講義時間等の配慮には助けられました。